



バドミントン愛知

No.
162

令和5年10月 発行者／愛知県バドミントン協会 編集者／広報委員会

第75回 愛知県総合バドミントン選手権大会

令和5年6月4日(稲永スポーツセンター)、6月18日(パロマ瑞穂アリーナ)、7月2日(名東スポーツセンター)、7月8日(名古屋市体育館)にシングルス162名、ダブルス74組がエントリーして熱い熱戦が繰り広げられた。

また6月18日と7月8日は試合の様子がYouTubeでLIVE配信された。



男子シングルス
藤原圭祐選手

種 目	優 勝
男子シングルス	藤原圭祐選手(ジェイテクト)
女子シングルス	海老澤花選手(東海興業)
男子ダブルス	小川翔悟選手 佐野大輔選手(ジェイテクト)
女子ダブルス	鈴木ゆうき選手 植村理央選手(豊田通商)
混合ダブルス	大関修平選手(大同特殊鋼) 肥田木あかり選手(東海興業)

ダブルス優勝選手の喜びのコメント



女子シングルス
海老澤花選手

自分たちのプレーをしっかりとやることに集中し、勢いそのまま優勝できてホッとしている。



男子ダブルス
(左)佐野大輔選手 (右)小川翔悟選手

社会人初めてのタイトル。
先輩が棄権のためプレッシャーが大きかったがよい結果を残せてよかったです。



混合ダブルス
(左)大関修平選手 (右)肥田木あかり選手

難しいゲームだった。先輩に助けてもらっての優勝だが、実は狙っていた。



女子ダブルス
(左)植村理央選手 (右)鈴木ゆうき選手

社会人2年目で初めてのタイトルが取れてとてもうれしい。

勝つための本物——

GOSEN®

www.gosen.jp

株式会社ゴーセン 大阪本社／TEL.06-7175-7116 FAX.06-6201-0741

西三河のバドミントン専門店

モリカズモリ

豊田市山之手3丁目100番地
☎ <0565> 29-0055

第53回 全国中学校バドミントン大会

令和5年8月20日～23日に高知県で開催された全中。女子団体戦において、名経大市邨中学校が県内史上初の3位入賞を果たした。2回戦の帯広第一中学校(北海道)に危なげなく2-0で勝利。3回戦の木太中学校(香川)は、2回戦でシードのYANAIバドミントンチーム(山口)を倒して勝ち上がってきた相手だったが、第1ダブルス(蟹江・門川)は2回戦同様、安定した攻撃を続けて得点を重ね、シングルス(熊谷)は、技術の高い相手に苦戦しながらも、持ち前の粘りと高い打点からのスマッシュやカットなどを用いて相手のミスを誘い、勝利した。準決勝ふたば未来学園中学校(福島)とは、第1ダブルスがファイナルゲームの接戦を演じたが、力が及ばなかった。

個人戦において、男子単の山脇弘獎(金屋中3年)選手。優勝とその先にある全日本総合出場を目標に勝負の準決勝は、この世代を代表する2人の対戦となった。山城政人(ふたば未来学園中)選手に序盤からペースを握られ苦しい展開、途中追い上げるも19本で1ゲーム目を落とす。その後は勢いに乗った相手を止める事が出来ず試合終了。素晴らしい成績だが、悔しい結果となった。

女子単においては、松本紗季(富士松中3年)選手。初出場ながら順調に勝利を重ね、準々決勝で昨年の女王、浅野真央(青森山田中)選手との対戦。ゲームを取り合い、ファイナルゲーム中盤までリードを保つも16点で追いつかれる。観客がどよめく死闘の中、王手を取ったがそこからはプレッシャーからか後手に回り、惜敗。ただ相手を本気にさせた素晴らしい闘いであった。結果はベスト8。

男子複においては名経大市邨中の澤木悠羽・山本禎利選手(3・2年)。団体戦で準優勝した能古賀クラブ(福岡)に1勝を挙げた勢いのまま、パワフルな攻撃と気迫を武器に3回戦をファイナルゲームで制し、ベスト8に進出した。

(名経大市邨 石井久伸 はりーあっぷ 中口竜郎)



女子団体3位 名経大市邨中学校



男子単3位 山脇弘獎選手

第24回 ダイハツ全国小学生ABC大会

令和5年8月12日～13日に香川県高松市で開催されました。女子Bグループで渡邊世怜菜選手(大里東ジュニア)が優勝を果たし、また本県代表選手も右表のとおり優秀な成績を収めました。

Bグループ女子	優勝	渡邊世怜菜選手 (大里東ジュニア)
	3位	宮下蒼夏選手 (SGUジュニア)
Aグループ男子	3位	角倉蓮太選手 (西尾ジュニア)
Aグループ女子	5位	佐々木きい選手 (T-Jump Jr.)
Cグループ女子	5位	村井菜夏選手 (西尾ジュニア)



渡邊世怜菜選手



宮下蒼夏選手



角倉蓮太選手



佐々木きい選手



村井菜夏選手

愛知のホープ

くま がい な こ
熊谷 南虹 (名古屋経済大学市邨中学校2年)



出身は愛知県春日井市。小学校時代はたんぽぽBCに所属し、東海大会準優勝の成績を残しています。中学からは名古屋市の市邨中学校の選手としてプレー。持ち味は高い身長、長い手足から打ち込まれる鋭く角度のあるスマッシュやカット。その攻撃力は格上の相手をも打ち崩します。また粘りあるプレーも特徴です。先日高知県で行われた第53回全国中学校総合体育大会では、団体戦シングルスとして出場。先輩たちの勝利に続いて自分も必ず勝つ!という強い気持ちで臨み、全国各地代表の主力選手を打ち負かして初の団体3位入賞に大いに貢献しました。

次の目標は、9月に行われるJOCでベスト8以上、11月の新人戦で優勝すること。そして来年の全中では今年以上の結果を残し、且つ個人戦でもベスト4以上に入ることです。そのために今はラリー中のミスを減らすなど、自分自身の課題に一つずつ向き合いながら日々の練習に取り組んでいます。全国大会で良い経験をし、バドミントンに対する意識がより高まったのではないかと感じます。

性格は真面目で優しく、周りからの信頼も厚いです。しかし試合になると別人のように相手に気迫をぶつけ、熱いプレーを繰り広げます。見ていると自然と引き込まれる選手です。

将来は、インターハイで入賞し、誰からも応援される世界で活躍する選手になりたいという高い目標を掲げていますので、今後の成長を楽しみに、応援よろしくお願ひします。

(名古屋経済大学市邨中学・高等学校バドミントン部顧問 石井久伸)

フットワーク

この欄は、連載のコーナーとして県内各チームの紹介や
その他の記事を皆さんに続けてお届けしています。

今回は 愛知県立高蔵寺高等学校バドミントン部

を紹介します。

昭和55年、春日井市の高蔵寺ニュータウンに創立された学校で、バドミントン部はその当初から活動を続けています。現在、男子部員は1、2年生合せて35名とマネージャー3名、女子部員が同じく16名とマネージャー1名で、基本的には男女別々に活動しています。近隣には多くのジュニアクラブやバドミントン部を持つ中学校がありますが、男女ともにほとんどが高校から始め、高校生活の短い期間で力をつけ結果を出せるよう頑張っています。

【男子】 全部員が高校からバドミントンを始めました。県大会出場を目標に顧問の溝上先生、大村先生の指導の下で日々練習に励んでいます。人数が多く平日はコートに入る時間も短いですが、2年生を中心に行なう練習メニューを考えて、各々の課題に取り組んでいます。時にはうまくいかないこともありますが決してあきらめずにできるようになるまで練習し、試合に生かせるよう努力しています。最近、練習試合で勝利することも増えてきました。公式戦でも結果を出し、県大会に行けるよう頑張ります。

(部長 馬場 琥太郎)

【女子】 とにかく「元気よく」毎日の練習を頑張っています。県大会出場を目標に、どんなに強い相手と試合をするときも1回でも多くシャトルに触ろうとする貪欲さを大切にしています。部員のほとんどが高校から競技を始めていますが、向上心を持ってアドバイスを求めながら取り組んでいます。これからも先生方や仲間と共に毎日の練習を大切にしていきたいです。

(部長 小倉 夕楓)



連盟NEWS

小学生バドミントン連盟

第41回愛知県小学生バドミントン大会単個人戦が6/17(土)常滑市体育館で、7/17(月祝)には複個人戦と単個人戦準決勝以降の試合をメディアス体育館おおぶで行いました。単は524名、複は219組の選手が出場。

今年度からようやく入場制限がなくなり声出しの応援も可能になったので、チームメイトの熱の入った声援を受けて、選手たちはいつも以上の実力を發揮したのではないかでしょうか。特に準決勝、決勝はファイナルゲームまでもつれ込む試合が多く、一つでも上を目指す選手の頑張りが見られた試合ばかりでした。

4位までに入賞した選手は10/9岐阜県で行われる東海大会に出場。そこで3位までに入賞した選手は12月に沖縄県で行われる全国大会へ出場できます。1人でも多くの選手が全国レベルへ挑戦できるよう頑張ってほしいです。

また7/17には、3級審判検定会実技検定も行われ、多くの指導者や保護者が奮闘していました。

(小学生連盟 鈴木由紀江)

種目	優勝	準優勝
4年以下 男子複	平野 仁太・田中 歩輝 (TOYOKAWA Jr.B.C)	藤井 悅・鈴木 春登 (ハシルトン)
5年 男子複	柴田 稲雲・山田 理生 (師勝ジュニアバドミントンクラブ)	山内 智陽・井村 梓陽 (大里東ジュニア)
6年 男子複	米谷 蕎人・青山 大都 (はりーあっぷジュニア)	小野 春陽・大松谷 勇成 (T-Jump Jr.)
4年以下 女子複	平田 花子・田中 倫奈 (Winwin)	花堂 希衣・三ツ石 心花 (はりーあっぷジュニア)
5年 女子複	鈴木 里歩・野間 一花 (西尾ジュニア)	市川 葵・三好 優菜 (はりーあっぷジュニア)
6年 女子複	宮下 海空・森 ののは (SGUジュニア)	浦越 楓音・長神 璃子 (豊橋ジュニア)
4年以下 男子単	伊藤 稜平 (師勝ジュニアバドミントンクラブ)	斎木 権成 (はりーあっぷジュニア)
5年 男子単	服部 恵大 (Unibirds岡崎)	山田 世吏 (西尾ジュニア)
6年 男子単	松下 遼祐 (はりーあっぷジュニア)	星野 優志 (SunGreen豊橋バドミントンクラブ)
4年以下 女子単	渡邊 世怜菜 (大里東ジュニア)	宮下 蒼夏 (SGUジュニアバドミントンクラブ)
5年 女子単	松本 紗奈 (はりーあっぷジュニア)	松井 理紗 (めだか豊橋バドミントンスポーツ少年団)
6年 女子単	山脇 咲星 (はりーあっぷジュニア)	馬場 心春 (はりーあっぷジュニア)



シングルス6年男子



ダブルス6年男子



シングルス6年女子



ダブルス6年女子

中小学校体育連盟バドミントン部

第77回愛知県中学校総合体育大会がメディアス体育館おおぶにて、7月29・30日(土・日)に開催されました。各支部から勝ち上がった選手たちが、東海大会・全国大会へ向けて競い合いました。団体戦では上位2校、個人戦では3位までの選手が東海大会へ進出します。この大会で3年生は引退となることもあり、白熱した展開となりました。

団体戦では名経大市邨中が圧倒的な強さを見せ、男女ともに優勝。女子団体では決勝で敗れた大府北中と、順位決定戦で勝利した大府北中の対戦がなかつたため、2位決定戦までもつれ込みました。地区大会では大府北中が勝利していましたが、激戦の末に大府北中が2-1でリベンジを果たし、名経大市邨中と共に東海大会への出場を決めました。男子は名経大市邨中と大府西中。

個人戦、男子シングルスは、昨年度のJOC新人の部で準優勝した山脇選手が優勝。女子シングルスは第1シードの松本選手が1ゲームも落とすことなく優勝。男女ともダブルスの決勝戦は、名経大市邨中どうしの対戦となりました。

続いて8月8・9日に行われた東海大会は、県勢が目覚ましい活躍でした。男女団体で名経大市邨中が優勝。個人戦の決勝は全種目が愛知県の選手どうしの対戦となり、団体、個人ともに優勝は愛知県が独占するかたちとなりました。

(中小学校体育連盟 石原健太郎)

スポーツごころを世界に。



市町村だより

○ 知多市スポーツ協会バドミントン連盟 ○

今年度初開催の知多市民バドミントン大会を6月18日にメディアス体育館ちたで実施しました。一般団体戦(18チーム、94人参加)とジュニアのシングルス戦(65人参加)では白熱した試合が多く、団体3部では決勝戦が時間切れになり両者優勝としました。

またジュニアのシングルス戦は、父兄の盛大な応援もあり熱戦が繰り広げられました。

種目	優勝	準優勝	3位	
団体戦1部	新田バドミントン	佐布里		
団体戦2部	バリヤード	ソウリ	マスカット	
団体戦3部	焚火	はっぴいでい(1位)	イイサ	岡田BC
6年生男子シングルス	井平 有優 (八幡)	高橋 翔太朗 (知多J)	豊田 快斗 (八幡)	平松 蒼都 (八幡)
6年生女子シングルス	濱野 光沙 (新知J)	賢生 彩友 (知多J)	細貝 果布 (八幡)	岩出 葉月 (旭北J)
5年生男子シングルス	竹之下大悟 (知多J)	堀越 直人 (新知J)	西 玲杜 (知多J)	池尾 嘉太 (知多J)
5年生女子シングルス	立岩 希衣 (新知J)	早川 莉秀 (新知J)	鶴川 韶 (知多J)	池山 紗弓 (新知J)
4年生シングルス	濱野 晃斗 (新知J)	早川 梨菜 (旭北小)	飯田 凪海 (知多J)	深川 雅晴 (旭北小)

○ 豊田市バドミントン協会 ○

◆第37回市民バドミントン大会(秋季団体戦)

7月2日(日)スカイホール豊田で開催されました。今年度の新人戦から引き続き、参加対象者を小学生まで広げたので、34チーム、総勢164人が参加し、大いに盛上がりを見せました。



女子1部優勝 S.S



男子1部優勝 ぴょんず

○ 蒲郡市バドミントン協会 ○

当協会に所属する小中学生のクラブ「ドロップス」は、体幹を鍛えるため、練習に綱引きを取り入れています。7月30日、千葉市ポートアーニーで開催された「2023全日本ジュニア・ユース綱引選手権大会」に出席し、見事優勝しました。

理事長通信

愛知県バドミントン協会
理事長 朝倉 康善



今年度も会員の皆様のご協力の下、上半期のスケジュールを順調に実施でき、感謝しております。さて、5月開催の常務理事会と7月開催の理事会での議を経て、本会としての「スポーツ団体ガバナンスコードの遵守状況に関する自己説明・公表」を実施することを決定しました。

これは上部団体である愛知県スポーツ協会からの打診を受けて対処するもので、本会の組織運営の現状と課題を整理して公表することになります。内容的には法令に基づいて適切な事業運営をしているか?コンプライアンス意識を徹底しているか?適切な会計処理をしているか?等々の16項目の設問をクリアしようとするものです。自分たちなりにしっかりと運営してきたつもりでも、改めて問われてみれば、まだ手を打たなければならないことが多い事実が明白になり、焦る一方で組織強化のチャンスでもあると受け止めてもおります。役員全員がコンプライアンス研修を受けるなど、努力を重ね始めております。ご関心のある皆様には、総務委員会にお問い合わせをいただければ幸いです。皆で安心できる組織運営を拡大したいと思います。

大府

JR 大府駅西口徒歩 8 分

はりーあっぷ

代表 中口直人

TEL(0562)44-5529 FAX(0562)44-5594

バドミントンプロショップ
リーダース グループ

SINCE1979

名古屋一社

地下鉄一社南出口より徒歩 2 分

(有)リーダース

代表取締役 豊田修光

TEL・FAX(052)703-2767

ヨネックス スポーツチャレンジ2023in愛知

7月31日 名古屋市名東スポーツセンターにて「ヨネックス スポーツチャレンジ2023 in 愛知」が開催されました。このイベントはヨネックス社がバドミントン普及のため全国を巡回するイベントで、今年は愛知と三重での開催です。

東京五輪金メダリストで前週のジャパンオープンにも優勝した男子シングルス世界ランキング1位のViktor Axelsen(デンマーク)や、男子シングルス世界ランク4位Kunlavut Vitidsarn(タイ)ら4選手と、BIPROGYの遠藤大由コーチが会場を訪れ、選抜された愛知のジュニア選手たちとミニゲームやエキジビションマッチを行い、一緒に汗を流しました。

会場には一般の観客も多数訪れ、終始なごやかな雰囲気で楽しい時間を過ごしました。

(広報委員長 浅井淳)



審判連載 ルールブック講座 第9回 「スピンドラフの取り扱いについて」

池上 信之

令和5年5月29日にマレーシアで国際バドミントン連盟(BWF)理事会が開催され「スピンドラフ」(通称)に関する協議がなされ、結果使用できなくなりました。これを受け、日本バドミントン協会(BJ)でも、競技規則第9条サービス第1項(5)を下記のように改定し、令和5年6月1日より令和6年9月パリパラリンピック終了まで適用されることになりました。

(改定前)サーバーは、ラケットで最初にシャトルの台を打つものとする。

(改定後)サーバーは、スピンドラフを加えずにシャトルを放し、ラケットで最初にシャトルの台を打つものとする。



編集後記



全国大会団体戦出場の切符を手に入れた学校は、ほとんど歴代「ベスト8以上」と抱負を口にしてきたがいつも跳ね返されてきた。今年は名経大市郷中女子が壁をよじ登り、3位入賞の扉を開いた。県内史上初の輝かしい成績です。おめでとう!

さて、当広報誌、最近記事原稿の集まりが芳しくなく、ページ数が減る一方です。県総合大会のライブ配信が好評だったように、リアルタイムの視聴に敵わないのは世の流れですが、たまにはゆっくり他連盟や地元市町村の地域試合の結果など、ご覧になってみませんか。

「へえ～あの泣き虫だった子が大活躍してる…」「あの選手、今もがんばってるんだなあ…」など、ちょっとした発見があるかも?…ですよ。

(広報委員 山本真弓)

連絡
投稿

〒453-0851 名古屋市中村区畑江通6-14
広報委員長
浅井 淳(あさい じゅん)

公式サイトアドレス
<https://www.badminton-aichi.com/>
Eメールアドレス
info@badminton-aichi.com

